



かずらはた
葛畑

農村歌舞伎 伝承友の会

入会のご案内

昭和41年復活公演

兵庫の屋根 氷ノ山のふもと
重要文化財の農村舞台で歌舞伎を伝承



子ども歌舞伎「身替座禅」

葛畑座「葛畑三香臭」

友の会概要

- 会費 …… 協賛金/1口 1,000円 (年会費)
- 特典 …… 会報誌・チケット先行販売・見学会・過去の上演映像販売 ほか
- 問合せ先 …… 養父市関宮地域局まちづくり課 (伝承会事務局)
〒667-1105 兵庫県養父市関宮633
TEL:079-667-2331 (平日 9:00▶17:00) FAX:079-667-3213
- 後援 …… 養父市・養父市教育委員会・神戸新聞社・読売新聞豊岡支局・毎日新聞豊岡支局・産経新聞豊岡支局・朝日新聞豊岡支局

葛畑農村歌舞伎

兵庫・但馬の屋根、氷ノ山の深い谷あいには葛畑(かずらはた)座の舞台、芝居堂があります。入母屋葺きの大屋根に、回り舞台、花道など歌舞伎特有の機能を備え、周辺の美しい棚田の景観とあいまって全国有数の農村歌舞伎舞台として、昭和43年に国の重要有形民俗文化財に指定されています。

この舞台で江戸時代中期から、農村歌舞伎が演じられてきました。大阪の芝居小屋で修行した藤田基左衛門がふるさと葛畑に帰り、地元の人たちと結成したのが「葛畑座」です。明治3年のことでした。

昭和の初めごろまで盛んだった葛畑の農村歌舞伎は一時、衰退します。舞台の改修にあわせて昭和41年に再び公演しますが、その後、長らく途絶えていました。

しかし、地元住民の「もう一度歌舞伎を」という熱い思いが県や関宮町(現・養父市)や関係者を動かし、37年ぶりの復活公演を、平成15年に果たしたのです。

平成の「葛畑座」は、農業やサラリーマンなど全員、地元葛畑の人たちで、すべて男性で構成されています。松竹株式会社上方歌舞伎塾の指導者から厳しい稽古を受けて迎えた本番の舞台は、谷間に沈む夕日を背に江戸時代からの伝統を蘇らせました。

専門家やマスコミからも高い評価を受けるとともに、年々、活動の幅を広げ、平成18年には西宮市にある県立芸術文化センターでの、単独公演を成功させることができました。

また、次代を担う歌舞伎役者を育成するため、平成15年から子どもたちによる農村歌舞伎公演と、講座を毎年行っています。

このような活動を通して、葛畑における農村歌舞伎の伝統を守ってありますが、国・県・市の補助金に依存している状態では、年々運営が難しくなってきました。

つきましては、「葛畑農村歌舞伎伝承会」を立ち上げ、葛畑農村歌舞伎を後世に残していくことに賛同をいただける人たちのお力をお借りしたいと考えております。

葛畑農村歌舞伎 伝承友の会特典

- 会報誌
- 例年、秋に行っている公演の先行予約
- 過去の公演映像を特価(平均2,000円で販売)

詳しくは、事務局までお問い合わせください。 TEL.079-667-2331

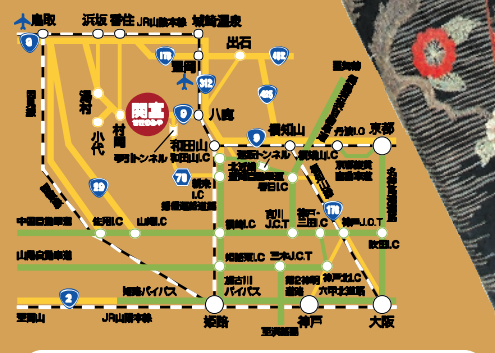


「葛畑芝居堂」



農村歌舞伎衣装 (県指定民俗文化財)

ACCESS MAP



氷ノ山と棚田

平成16年兵庫県立芸術文化センター公演 新編歌舞伎「野村胡堂住持の魂」

